



校長室から

校長 倉持利夫

平成25年度第63回卒業式を、多くのご来賓と保護者の皆様のご来臨のもと、盛大に挙行できますこと、厚く御礼申し上げます。

本校は明治43年の創立以来103年の伝統ある学校です。今年の卒業式もその歴史と伝統に支えられた厳かな式典になる事でしょう。卒業生、そして保護者の皆様には心からお祝いを申し上げます。

保護者の皆様には、朝な夕な手塩にかけて慈しんでこられた卒業生の姿を前にして、そのお喜びはいかばかりかと拝察する次第です。また本日までの本校教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

卒業生の皆さんには今日を境に社会人としての生活が始まります。現在の日本の状況は厳しいものがありますが、皆さんには、本校で培った知識、逞しい心と身体、そして健全な精神が存在します。どんな状況下でも、鹿島高校の卒業生として誇りと自信を胸に、様々な苦境を乗り越え、幸せな人生を歩んで欲しいと心から祈ります。

ドイツの哲学者ショーペンハウアーは、「幸せを数えたら、あなたはすぐに幸せになれる」と言いました。幸せになるのは簡単である。幸せな人は幸せを見つけるのが上手い、不幸な人は不幸を見つけるのが上手いだけだと言います。自分を今囲んでいる幸せに気づき、皆さんにはさらに大きな幸せを呼び寄せて欲しいと思います。

本校第63回卒業生の前途洋々たる未来、そして限りない活躍を念じ、これからも本校教職員一同心から応援しております。

本館耐震工事完成

本館の耐震工事が完成し、すっかりお色直されました。今回の工事では、見える部分だけではなく、トイレも綺麗になっています。工事はこれから、2棟から3棟へと進んでいく予定です。



祝卒業！

【1】入学式のこと

合格発表直後の<3.11>。その影響で、体育館が使えませんでした。教室に保護者の方にもお



入りいただいて、放送によって入学式を行いました。

【2】最初のクラスマッチと最後の体育祭



スポーツ大会は、最初から大いに盛り上がっていました。春のクラスマッチ、秋



の体育祭、ともに全力で競い、負けた悔しさに涙を流す姿も見られました。

【3】鹿苑祭のこと

文化祭は2年生の時でした。前庭でみんなで踊ったり、模擬店を開いたりしました。お化け



屋敷には来客が殺到し、長い行列ができていました。

各クラスで担任の先生の似顔絵も描きました。どのクラスも素晴らしいできばえで、採点の方々は大変苦労した事でしょう。



閉祭式では、色とりどりのTシャツで『あとひとつ』を歌いました。みんなの心が一つになった瞬間でした。

【4】「熱海殺人事件」茨城初演!のこと

2011年10月、旧北区つかこうへい劇団をお招きして、芸術鑑賞会が開かれました。つかこうへい氏が亡くなって3年、正当な後継者によって名作が上演されたのは、ここ、鹿島高校だけです。もっとも、当時1年生の皆さんには、やや刺激的な台詞に圧倒された演劇体験だったようですが。



【5】沖縄のこと

2年生の10月、修学旅行は沖縄でした。ひめゆり平和祈念資料館などで、往時の悲劇を学び、平和について考えました。また、様々な沖縄の風土や自然を体験することもできました。この平和で豊かな自然をいつまでも守って行かなければと、誓いを新たにしましたことでしょう。



【6】進路のこと

今年度3年生の最終的な集計はまだですが、例年同様、100名程度が大学・短大に進学し、専門学校へ70名程度、就職が60名程度となる見通しです。国公立大学も、秋の推薦入試しか結果が出ていませんが、下記4名が進学します。

小樽商科大学商学部

茨城大学教育学部学校教育教員養成過程

茨城大学工学部メディア通信

筑波大学人文・文化学群人文学類

小樽へ進学する生徒は、自分のしたいことがかなえられる大学を探し、働きながら学んでいく決心をしました。茨大・教育に進学する生徒の専攻は数学です。将来は数学の教師として、明日を担う子どもの傍らに立つことでしょう。

その他の進路を選択した生徒たちも、それぞれに悩み、努力し、自らの進路を切り開いてきました。

進学、就職等に関わらず、卒業生全員の未来に、幸多からんことを祈ります。

【7】文化部のこと

鹿島高校といえば、全国大会出場を狙う運動部の活躍が目立ちますが、この学年は、文化部も大きな成果を挙げています。

①吹奏楽部は、久々に、茨城県大会で銀賞を獲得しました。②演劇部は、3年生の頑張りで、県大会第4位、関東演劇フェスティバル出場権を獲得しました。③現3年生が設立した将棋同好会は、関東大会出場を果たし、1年生は先日、全国大会に行ってきました。

【8】通学バスのこと

2013年6月から、スクールバスの運行が始まりました。これまで18キロの道のりを自転車で通っていたある3年生女子も、その利用者の一人となりました。交通量の多さや、あの坂を下る危険から開放されてほっとした事でしょう。



【9】亀

亀です。今は寝ています。けれど春になったらまた、新しい生徒とともに顔を出してくれることでしょう。春は、すぐそこです。



編集後記：この『鹿苑だより』は、本校の広報誌として、近隣住民の方や、在校生の出身中学校などへお届けしてきました。が、今回は、卒業式スペシャルです。卒業生の三年間のいくつかを、思いつくままにご紹介しました。なお、No.1～No.5は、本校ホームページでご覧いただけます。本日は、ご卒業おめでとうございます。

茨城県立鹿島高等学校学校だより

『鹿苑だより』第6号(卒業記念号)

発行：茨城県立鹿島高等学校

校長 倉持利夫

編集：広報委員会

中沢雅彦 山崎律子